



玉前神社

上総国一之宮

- 由緒・由来
- 境内散歩
- 年間行事案内
- ご祈祷の案内
- 授与品のご案内
- 道案内
- 上総十二社祭
- フォトアルバム
- 芸能・文化財
- 知っておきたい
神道知識
- リンク
- 一宮町観光案内など

境内散歩

けいだいさんぽ

社殿と棟札

黒漆塗りの権現造りという珍しい社殿です。貞享4（1687）年に造営され、建築様式は大唐破風・流れ入母屋権現造りで、銅板葺きです。正面に高砂の彫刻があり、左基五郎の作とも言われています。棟札は大きく、表には奉造営 貞享4年3月13日大工棟梁大沼権兵衛とあり、裏面には13か村の名が記されています。



ご神水・ご神砂

ご神水は24時間ご自由にお探りいただける場所にございます。入れ物などは当社にはございませんのでご持参下さい。ご神砂は社務所に頒布しております。



芭蕉の句碑

本殿西側にマキの大樹に囲まれてたたずむ句碑には、

たかき屋にの 御製の有難を今も猶
叡慮にて賑ふたみや庭かまど はせを

の芭蕉の句に、

名にしおはゞ 名取草より社宮哉 金波

を発句とする表十句が刻んであります。
この碑は、上総千町村（現茂原市千町）の俳人起名庵金波（河野五郎兵衛）一門によって 建てられたもので、書も金波といわれています。



イヌマキの群生

千葉の県木イヌマキの大小20本余りが群生しうっそうとしてお宮の杜を構成しています。一番の長老は本殿東側の樹高20m・幹囲3.26mの巨木で樹齢300年と言われています。

その他ご神木イスの木（なんじゃもんじゃとも呼ばれる）やご神徳のご縁によるザクロ・イチヨウの木を始め、ケヤキ・クスノキ・シイノキ・サクラなどが季節の移り変わりを告げてくれるのです。

